

「鎌ヶ谷市人口ビジョン」及び「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の全体像

人口ビジョン

I 鎌ヶ谷市の人口の状況分析

- 総人口の推移(国立社会保障・人口問題研究所の推計)**
2020年に約11万1千人まで増加。その後、減少傾向に転じ、2040年には約10万4千人まで減少。
- 年齢3区分別人口の推移**
生産年齢人口：約7万人(2010年) ⇒ 約5万7千人に減少(2040年)
年少人口：約1万4千人(2010年) ⇒ 約1万9百人に減少(2040年)
老年人口：約2万4千人(2010年) ⇒ 約3万6千人まで増加(2040年)
※高齢化率：22.1%(2010年) ⇒ 34.6%(2040年)
- 出生・死亡数・転入・転出数の推移**
出生数：2013年以降減少傾向
死亡数：2011年に初めて8百人を超過
転出数：2012年より増加
転入数：2013年に5千人を下回ったが、その後増加傾向
- 合計特殊出生率の推移**
2013年は1.33で、千葉県平均と同水準(全国平均は1.43)
- 年齢階級別の人口移動の状況**
2011年までは転入超過、2012年から転出超過に転じている。
男性：「30～34歳⇒35～39歳」(2005年⇒2010年)になるとときに大幅な転入超過。
⇒30代の子育て世代における転入の影響
女性：「15～19歳⇒20～25歳」～「30～34歳⇒35～39歳」(2005年⇒2010年)までの年代で大幅な転入超過
⇒高校や大学への進学に伴う転入及び子育て世代における転入の影響

II 人口の将来展望

- ◆**将来展望に当たって参考となる調査等**
 - ・結婚・出産・子育てに関するアンケート
 - ・転入に関するアンケート
 - ・転出に関するアンケート

現状と課題の整理

◆目指すべき将来の方向

⇒子どもからお年寄りまで、あらゆる世代がいつまでも安心して暮らすことができる、活気と魅力あふれるふるさとを実現することを目指します。この実現のため、次の3つの方向を示し、様々な分野にわたる取組みを長期にわたり実施していきます。

鎌ヶ谷の未来を担う、若い世代の希望を実現 -出生率の向上-(自然増)

⇒本市は、豊かな自然を有する地域であり、子どもの健やかな成長に適した環境が整っている。このような環境を活かし、多くの人子どもを生ま育てることができるよう、若い世代の結婚、出産、子育てにおける様々な希望をかなえるための取組を進める。

人々が集まり、住まう、魅力あふれるまちの実現 -人口の流入増-(社会増)

⇒安定した雇用の確保、創出及び働きやすい環境の整備、教育環境の充実等により、人口の流出に歯止めをかける。また、地域資源の活用による鎌ヶ谷市の魅力向上・発信等により、人口の流入も進めていく。

いつまでも安心して暮らすことのできるふるさとの実現 -暮らしやすい社会づくり-(定住)

⇒人口減少が進む中においても、その時々において移り変わるニーズに対応するため、地域が連携し支え合い、鎌ヶ谷に住むあらゆる世代の誰もがいつまでも安心して暮らすことのできるふるさとづくりを進める。

中長期展望(2060年)

◆人口の将来展望

⇒2060年の市の人口を、107,000人程度に維持する。

◆自然増(国目標を目指す)

出生率：2020年=1.6
2030年=1.8
2040年=2.07(人口置換水準)

◆社会増(転入者と転出者の差)

1,000人増にする(2020年)

総合戦略(2015～2020年度の6か年)

基本目標、成果指標(2020年)

1 人々が交流・定着する、魅力あふれるまちづくり

⇒人々が交流・定着し、活気あるまちを継続していくため、まちの魅力を高め、広く発信します。

◆成果指標

社会増加数(転入者-転出者数)：1,000人

2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり

⇒鎌ヶ谷市の未来を担う若い世代の結婚・出産・子育てにおける希望を実現し、出生率を向上させていくため、切れ目のない支援を展開するとともに、地域全体で生ま育てやすい環境づくりを進めます。

◆成果指標

・合計特殊出生率：1.6

3 働きたいという希望をかなえるまちづくり

⇒鎌ヶ谷市で働き(続け)たいと考える人の希望を実現するため、しごとを創り出すとともに、働き続けることのできる仕事場を整備・支援します。

◆成果指標

雇用・就労人数：1,275人

4 あらゆる世代の誰もが安心して暮らすことのできる、支え合いつながり合う地域づくり

⇒変化するニーズに対し、地域の連携により対応し、子どもからお年寄りまで、あらゆる世代の誰もが安心して暮らすことのできる地域社会をつくりまします。

◆成果指標

・自治会加入世帯数：29,800世帯
・自主防災活動実施回数：120回

主な重要業績評価指標(KPI)

市の魅力向上及び発信、地域活性化の推進
魅力ページ閲覧件数：45,000件

観光の振興
観光入込客数：310,000人

きらりホールを活用した市民文化の創造
きらりホール主催事業来場者数：4,700

日本ハムファイターズとの連携強化等
スポーツイベント等年間参加人数：3,800人

地域における子育て支援の充実
つどいの広場参加人数：31,905人

子育て支援策の連携・PR戦略の強化
子育てガイドブック等配布数：10,300部

子ども医療費助成の推進
子ども医療費助成件数：183,000件

妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
支援ニーズの高い妊産婦への支援実施：100%

市の特性に応じた企業立地の促進
誘致企業数：2件

地域産業の競争力強化
認定農業者数：49人

女性、高齢者、障がい者就業支援
シルバー人材センター会員数：700人

高齢社会の地域活動への参加支援
老人憩の家等の新設：11か所

市民公益活動団体の紹介・連携
市民活動相談件数：100件

空き家などの活用及び対策の促進
市内空き家件数：875件

防犯体制の充実化及び防犯意識の高揚
夜間防犯パトロール実施回数：260回

施策の基本的方向、施策

- ①新たな「都市の魅力」を高めるまちづくり
(市の魅力向上及び発信、地域活性化の推進、都市軸及び近隣商業拠点の整備促進)
- ②誰もが訪れたい観光地づくり
(観光の振興)
- ③「緑の都市宣言」として緑豊かなまちづくり
(快適な公園・緑地環境の整備、市民参加型による桜の植樹の推進)
- ④「文化の香り」のあるまちづくり
(きらりホールを活用した市民文化の創造、多様な市民文化活動の推進)
- ⑤「生涯スポーツ都市宣言」としてスポーツ環境等が充実したまちづくり
(市民参加型スポーツイベント等の実施、北海道日本ハムファイターズ等におけるスポーツイベントの協力)
- ⑥鎌ヶ谷市の様々な魅力を発信したまちづくり
(他自治体とのファイターズ資源共有化と連携強化、情報発信の強化)

- ①安心して子育てできる環境づくり
(地域における子育て支援の充実、子育て支援策の連携及びPR戦略の強化、就学前の子どもに関する教育・保育サービスの充実、放課後等における子どもの健全な育成支援、こども発達支援の強化)
- ②若い世代の経済基盤の確保と子育てに係る経済的負担の軽減
(結婚や子育てを応援する街のPR、若者世代の就職支援、経済的な支援の充実、利用会員の経済的負担の軽減等)
- ③妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援等
(妊産婦・支援ニーズの高い妊産婦への支援強化、子育て環境の周知、ライフデザインの推進)
- ④教育環境の充実化及び児童生徒の健康と安全の確保
(特別支援教育・教育相談の充実、情報教育の充実、放課後における学習支援の充実及び放課後子ども教室の推進、児童生徒における読書の推進、安全安心な学校給食の提供と食育の充実、児童生徒安全パトロールの強化)

- ①鎌ヶ谷市の特性に応じた企業立地の促進
- ②新たな雇用の創出及び場の整備
(起業の促進、勤労者が働きやすい環境づくり、空き店舗の活用促進)
- ③農業を主とした地域産業の強化等
(地域産業の競争力強化、農産物ブランド化の推進、農業経営基盤の強化、農家と市民の共存共栄・担い手の育成)
- ④女性や高齢者、障がい者の就労支援
(女性の就労支援・促進、高齢者の就労支援・促進、障がい者の就労支援・促進)

- ①生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくり
(いきいきとした高齢社会の形成、社会参加に向けた障がい者福祉の推進、コミュニティバスの利便性向上、かまがや安心医療ナビ)
- ②地域コミュニティの強化と人材の育成
(地域の多様な主体による連携の強化、自治会加入促進対策の推進、青少年の育成及び活動を支援する地域づくり)
- ③快適で暮らしやすいまちづくり
(安全でゆとりのある道路の整備、公共交通網の充実、安心して暮らせる治水対策、既存ストックマネジメントの強化、再生可能エネルギー利用の推進)
- ④安全に暮らせる地域づくり
(防犯体制の充実強化及び防犯意識の高揚、自主防災活動の充実強化及び防犯意識の高揚、避難行動要支援者避難支援体制の構築、消防団員の環境整備及び広報活動の強化)